

2019年7月16日

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言の提出

株式会社日本アクセス（所在地：東京都品川区、代表取締役：佐々木淳一、以下「当社」）は、2019年4月より国土交通省、経済産業省、農林水産省の3省合同で推進を開始した「ホワイト物流」推進運動に賛同し、2019年7月8日に国土交通省へ自主行動宣言を提出致しました。

■ 「ホワイト物流」推進運動とは

深刻化が続くトラック運転者不足に対し、国民生活や産業生活に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長を寄与することを目的に、トラック輸送の生産性向上・物流の効率化及び、女性や60才以上の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動です。

当社は「製・配・販」流通3層のより最適なSCM（Supply Chain Management）構築を目指し、ホワイト物流自主行動宣言において5つの取り組みを表明し、推進致します。

■ 日本アクセスの「ホワイト物流」自主行動宣言の取り組み項目一覧

- ・ 予約受付システムの導入
- ・ パレット等の活用
- ・ 発注量の平準化
- ・ 検品水準の適正化（入荷検品レスの推進）
- ・ 運送契約の書面化の推進

■ 物流効率化に向けた当社のこれまでの主な取り組み

- ・ 当社物流拠点で稼動する車両の有効活用によるメーカー様工場～物流拠点間の引取り物流
- ・ 全国を網羅している幹線物流網を駆使した輸配送によるSCMの全体最適化
- ・ 需要予測システム活用による発注頻度の低減・発注量の平準化及び入荷車両の削減
- ・ 入荷管理システムの導入・展開による入荷待機時間の削減

上記宣言のもと、当社は持続可能な物流の実現に向けて、荷主企業、運送事業者双方の共通理解を目指し、サプライチェーン全体の効率化に取り組んでまいります。

以上